

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 小泉公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 小泉公民館の使用許可に関すること。 (3) 使用料の徴収に関すること。 (4) 公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求めるときは、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満~95%:4点 95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(124%)=利用率(29.7%)÷24.0%(上記②適用)	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4年度実績)÷(R3年度実績) 大ホール:48.3%(平均値比111.3=48.3÷43.4) 研修室(大):41.7%(平均値比11201=41.7÷37.2) 研修室(小):31.2%(平均値比126.8=31.2÷24.6) 和室(1):24.7%(平均値比147.0=24.7÷16.8) 和室(2):25.6%(平均値比144.6=25.6÷17.7) 料理実習室:7.2%(平均値比184.6=7.2÷3.9) 多目的実習室:29.6%(平均値比120.3=29.6÷24.6)	5点
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満~95%:4点 95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(144%)=利用人数(延べ42,181人)÷29,271人(上記②適用)	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4年度実績)÷(R3年度実績) 大ホール:18,631人(平均値比140.1=18,631÷13,299) 研修室(大):7,298人(平均値比133.3=7,298÷5,474) 研修室(小):2,630人(平均値比161.9=2,630÷1,625) 和室(1):3,064人(平均値比140.7=3,064÷2,177) 和室(2):2,318人(平均値比139.1=2,318÷1,666) 料理実習室:494人(平均値比173.3=494÷285) 多目的実習室:3,967人(平均値比149.1=3,967÷2,661) 図書貸出:3,779人(平均値比181.3=3,779÷2,084)	5点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点 仕様書に忠実:11~9点 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点 それ以下:2~0点	①小泉公民館まつり (1)第29回ドリームオンステージ(19チーム361人) (2)第30回ココロのハンドメイド展(376人) ②地域意識醸成事業 (1)春・秋ウォーキング(39人)、(2)おおはら探検隊(119人) (3)第20回ふれあい広場(300人)、(4)ふれあいバザー(80人) (5)ふれあい小泉共催ラジオ体操(21回320人) (6)北栄地域包括支援センター共催介護予防教室(6回77人) ③市民健康づくり事業 (1)らくらく筋力アップ体操(12回218人)、(2)市共催コグニサイズ(2回29人) ③親育ち4・3・6・3たじみプラン協賛事業 (1)おひるねアート(5回90人) (2)かけっこしながら体力アップ(3回31人)、(3)やよ先生と作る秋の森(21人)	仕様書以上 13点	①公民館まつり「ドリームオンステージ」では、出演者や関係者限定で後日インターネット配信。参加できなかった方や家族など来館者ではない方の満足度向上にも取り組まれた。 ②公民館まつり「ココロのハンドメイド展」ではSDGsの取組みを意識。単なる作品発表にとどめず、リユース、リサイクルなど時代にあったテーマで参加者にも意義のある作品展とした。 ③活性化委員会は小泉小とのつながりを持ち、新規事業を展開。 ・「おおはら探検隊」では活性化委員会がまとめてきた小泉の歴史を元に、地元の遺跡を解説。学習成果への活用や児童とともに学びあう場となった。 ・「ふれあいバザー」では、他のイベントであそびのブースを展開してきたノウハウを活かし、小学校PTA活動の活性化に寄与。 ④子育て世代のためのサロン事業は、子育て世代の孤立がないように時代やニーズにマッチした参加しやすい事業を企画。公民館デビューのきっかけにつなげている。	13点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15~12点 例年通り:11~9点 例年よりやや劣る:8~7点 例年より劣る:6~3点 例年よりかなり劣る 2~0点	①小山園美新春コンサート(87人) ②オアシスカレッジ(41回712人) ③リトルカレッジ(8回88人) ④サロン事業(1)クラフトかふえ(6回73人)、(2)エンジョイ・オアシス(6回463人) ④こいずみオープンサークル(21回256人) ⑤フロントギャラリー(17展29,590人) ⑥中高生支援事業 (1)スタディーオアシス(34回188人)、(2)中学生ボランティア(5回53人) ⑦エンジョイ・オアシス(6回463人) ⑧VIVA! マナビバ(107回505人)	期待以上 13点	①「オアシスカレッジ」、「リトルカレッジ」では、公民館で学んだことを自宅に持ち帰り、広げたり深める働きかけがされ、個々に応じた学びの展開に取り組まれた。また大人が新たなことに挑戦しようというきっかけが生まれている。 ②「スゴ技キッズキラリ☆ショー」では、子どもたちが初めて人前に出て、ちょっとした特技や自慢を披露する場を提供。参加者が楽しみながら自己肯定感の向上ができる事業を展開。200名を超える入場者があり、公民館らしさが出たアウトホームな事業が取り組まれた。 ③オープンサークルでは定期利用団体の継続支援として体験会を実施。10の団体が体験会をした結果、活動の継続、会員数の増加、利用時間の延長という効果が得られ、定期利用団体、新規会員、公民館の誰にとっても喜ばしい結果となった。 ④エンジョイオアシスでは、国際交流ができるボードゲームフェスタでアナログの良さ、人との関わりを実感できるイベントが実施できている。日本の文化に触れた「ちょっとだけ盆踊り」も幼児から高齢者まで幅広い世代の参加を促した。	13点			
施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	①施設内清掃を実施(毎日)・業者による全館清掃を実施(年1回) ②屋外清掃(梅雨前、台風シーズン前に葉っぱや土砂の撤去を重点的に実施。草木の手入れなどは複数人の地域ボランティアの協力があつた。) ③花や陶器の作品、門松など季節にあつた飾りて、いつも賑やかな玄関周りに設置している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
		②保守・点検			①交換部品の生産が終了しているエレベーターの点検を毎日実施。異音がある場合はすぐにメーカーへ連絡を入れる緊急体制を整えている。 ②消防設備保守点検(年2回) ③空調機器設備保守点検(年4回) ④太陽光パネルの発電の確認を毎日実施。前年度は不具合が複数回あつたが、4年度は不具合はない。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③保安・警備			①開館時間の保安業務、機械警備を委託し実施(毎日)。業者と連絡をすぐにとれる体制を整備。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④小規模修繕			①有償修理 9件、総額712,180円 館内照明を積極的にLED化し、電気使用量の削減に心掛けた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			①エレベーターは交換部品の生産が終了しているため、不具合が発生した場合は使用停止にせざるを得ないため、施設利用への影響について危機意識を高めている。 ②建物沿いにある歩行者用通路で頭上の雨漏り箇所が数か所あり。大規模修繕の要望済み。 ③担当課や建築住宅課との情報共有に務め、適切な対応法を確認。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		

2	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P161 ①市ファイリングに準じて文書管理を実施。 ②利用申請書の管理方法を団体ごとに変更。状況に応じてスムーズに対応。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
		②環境への配慮			年次報告書P161 ①節電対策として緑のカーテンを作り、利用者にも涼を届けた。 ②LED照明の切り替えを順次実施。4年度は大ホール廊下、1・3階廊下を交換。 ③地域ボランティアの協力を得て、緑化管理を積極的に実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③バリアフリー			年次報告書P161 ①大ホール・多目的実習室の出入口で手すりを設置。 ②玄関に車椅子を配置。必要の際すぐに利用できるよう心掛けた。 車椅子利用者のエレベーター使用時は、職員がサポート。 ③廊下や手すり周辺の日常点検を実施。動線に障害物がないよう心掛けた。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④備品管理			年次報告書P161 ①大ホールを重点的に、備品の交換、不具合の修繕を実施。(音響設備・壁紙・司会台・掃除機など) ②利用者にとって使いやすく、片づけやすい備品管理に心がけた。 ③日々の点検で経年劣化等の不具合を放置せず、発見後は素早く修理や買替をした。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤個人情報保護			年次報告書P161 ①特に受付での個人情報の取り扱いに留意。 ②個人情報保護への高い意識を職員で共有。書類の保管はキャビネット内に徹底。 ③会場へ持ち込みむ名簿(簡易版)などと保存用(個人情報含む)を使い分け。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし。		事故なし・対応に不備なし 0点
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入24,746,671円÷支出25,114,612円=99%	100%未満 3点	【参考】令和元年度98%、2年度92%、3年度96%	3点	
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P163 ①ニーズ把握のため利用者アンケートを実施。備品の整備、同好会活動の支援が上がり、「教えたい」と「学びたい」をマッチング。公民館がコーディネイト役に。 (1)教えることにチャレンジ/高校生によるクラフト講座、地域住民(40代)によるスイーツ講座、地域住民(70代)による寺子屋風学習講座・・・講師デビューをサポート、地域資源の発掘 (2)新たな仲間づくりをアシスト 高齢化、会員数の減少、新規会員がないという課題を解決するため、「こいずみオープンサークル」を開催。仲間づくりをサポートし、継続的な活動へのきっかけとした。公民館も利用団体の内容が理解でき、入会へのアシストが容易になった。	期待以上 9点	①利用者と積極的にコミュニケーションを図ることでニーズを把握し、新たな講座の開設につなげており、希望に合った事業が行えるよう努めている。 ②多くの団体が直面している高齢化、会員数の減少に対し、現在の利用者の維持につながる支援を行った結果、利用者の不安解消や継続的な利用率の向上につながっている。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし。	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P164.165 ①前向きな地域活動のためのボランティアミーティング (1)活性化委員の意識改革、(2)中学生ボランティア隊「小泉ボランティアズ」の結成→「こいずみワクワクまつり」の開催に向けて ②手作りチラシでイベントPR ③利用者要望による整備 (1)常温の水・お茶の販売、(2)図書室配架のリニューアル、(3)ホワイトボード設置場所の変更、(4)大型ジョイントマットの貸出、(5)委員のリニューアル ④環境整備 (1)廊下照明のLED化、(2)防災の備え、(3)研修室カーペットクリーニング など ⑤今後の展望 (1)地域課題に着手。認知症、中高生事業の展開。 (2)関係団体との協働で地域交流・多世代交流・多様性を推進。 (3)新しい住民、新しい利用者へのアプローチ	期待以上 13点	①地域ボランティアとの関係を大切に、持続可能な活動を模索するために対話、熟議を進めている。子どもたちが地域で活躍できる機会を創造し、大人ができることを議論。地域の課題、未来の展望を見据え、時代やニーズを把握し、良いことは継承し柔軟に対応していく力の必要性を地域とともに共通認識している。 ②参加型ギャラリーの展開。見るだけでなく、参加できる展示、変化のある展示を意識して展開。定期利用者にも飽きられないロビーづくりに努めている。 ③利用者アンケートを精査し、新しい価値観で見直しを図っている。小さな変化で快適に使える備品の充実や環境整備がされている。利用者の声にきちんと応えることで、公民館と利用者との信頼関係が築かれている。子どもたちの声も丁寧に拾いあげ、図書室の絵本の場所を変えたことで、貸出の増加へとつながった。 ④利用者に喜ばれる図書の選書。リクエスト・予約本を増やし、貸出冊数は過去最大となった。 ⑤小中学校との連携を進め、学校運営協議会を通じた子どもとの交流促進、多世代交流、地域交流、多様性を推進。	13点	
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし。	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ①地域柄、中高生の利用が多い公民館として、その居場所づくりとしての取り組みは年々活発になっている。公民館活動を次世代につないでいこうとする取組みに期待。 ②高齢化等でメンバー減少に悩む両団体への支援は心強い。ひいては公民館の利用促進につながる取組である。	合計86点 極めて良好	